

佐久市学校教育の目指す子ども像

- 「夢や希望をもって輝き、
共に生きる子ども」
- すべての子どもが意欲を持って学習に参加し、共に学び合う授業づくり
 - 小から中へと学びをつなげていく教育の推進
 - コスモスプラン
(読むこと・書くこと・行うこと)

学校教育目標

- 「清く・正しく・たくましく」
- ①素直で明るく、優しい心をもった子(情)
 - ②よく考えて正しく判断し、行動できる子(知)
 - ③丈夫な体と粘り強い心をもった子(意)(体)

保護者・地域の願い

- 安心して子どもを託せる学校
- 子どもたちが日々楽しみにする学校
- 地域と共にある学校
- ☆自分たちの地域に誇りと愛情をもち心豊かに育てほしい

保護者・地域との連携

- 「早寝、早起き、朝ご飯」運動の推進
- メディアコントロールへの取り組み
- コミュニティ・スクールによる地域と協働した学習支援

ふりかえりから明らかになった、泉小の子どもたちの「強み」と「課題」

【強み】偏見なく、物事を肯定的に受け止められる
他の価値観を柔軟に受け入れられる
言われたことをきちんとこなし努力できる

素直さ

【課題】言われないと動けない面が見られることも...
もう一步深く追究できるようになってほしい
多様な見方・考え方を身につけさせたい

自分で考え・行動

新学習指導要領の3つの資質・能力によせた「めざす子ども像」

素直さを生かしながら

多様な根拠をもとに思考・判断・表現できる子

着実に知識・技能を身につけられる子

友と関わり、自分で考え、すすんで学べる子

泉小の合言葉

笑顔であいさつ、すすんで学ぶ、泉の子

重点目標

児童理解と心の居場所づくり

学力向上

タブレット等、ICTの効果的な活用
個別最適な学びと協働的な学びを
キーワードにした授業改善

すべての児童が安心して学校・
学級生活を送れる学校
いじめや不登校を生まない学校

落ち着いた学校・学級づくり

信州型UDの取り組みを生かした、
どの子も位置付く
学校・学級づくり

そのために

- 1 自らの力を伸ばし、ともに学び合う授業づくり
低学年【遊びを通して、試行錯誤できる場の確保】
「わかった、できた、いっしょにできた」
中学年【根拠を明確にし、理解したことを伝える学習】
「話す、書く、伝え合う」
高学年【自らの課題を追究していく学習】
考えを「持つ、持ち寄る、深める、解決していく」
- 2 学習内容の定着
・自分の学びをふりかえる時間の確保
- 3 子どもの学びを支える取り組みの充実
・全国学力、学習状況調査の早期採点と分析
・外部機関と連携した授業づくり
・子どもの実態をとらえた、具体の姿から学び合う職員研修
- 4 家庭学習の充実
・授業と連動させた課題(予習・復習)
・既習を生かした、クリア・チャレンジ問題
・家庭学習の習慣化
- 5 その他
学習支援ボランティアとの連携

- 1 人との温かい関係づくり
・誰にでもあいさつができる子ども
・自分を大切に、友達も大切にできる子ども
・人の話に耳を傾ける子ども
・発達段階に応じた他者理解ができる子ども
・わからないと素直に言える子ども
- 2 異年齢集団による交流活動の推進
・低学年児童と高学年児童との交流
・縦わりなかよし清掃
・ペア読書、読み聞かせ
- 3 Q-U検査の分析・活用
(楽しい学校生活を送るためのアンケート)
・年2回実施
検査結果を基にした、子どもとの相談週間の設定
- 4 いじめ防止のため、教職員の共通理解・連携・チーム支援を重視した総合的な取り組み
・いじめ不登校の早期発見、早期対応
・児童理解の時間設定と、校内支援会議の推進
・スクールカウンセラー、
スクールメンタルアドバイザー等との連携

- 1 集団生活の環境を整える
・「学校のきまり」の意味を理解し守る子ども
・教室の環境整備
・靴のかかとを揃える指導
- 2 静かな時間の確保
・朝の読書
・無言清掃を通して、生活場所を整える気づき清掃
- 3 休み時間や体育を通して、
思いっきり体を動かし心と体の健康を図る
- 4 学級・学年の活動、児童会活動等の充実と、
自己肯定感、自己有用感の醸成(役割を果たす姿を承認し、児童のよさを伸ばす活動)

コミュニティ・スクールの推進 ～地域とともにある学校づくりに向けて～

- ・運営委員会、推進委員会との連携
- ・学校支援ボランティアの組織化

等